



「富洲原小学校 百周年記念誌」を知っていますか？

第1面を飾るこの巻頭のシリーズも、明治・大正・昭和の戦前・戦後と進んできました。今回はそれらの締めくくりとさせていただきます。

昭和51年(1976年)に発行された「富洲原小学校 百周年記念誌(※)」は、学校編と郷土編で構成され、学校編では、明治9年(1876年)以降の小学校の変遷(この地域が、村から町、そして四日市市との合併に至る歴史など)が詳細に記載されています。

郷土編では、奈良・平安時代の地域に関する記述もあり、郷土の先駆者に対する追慕の思いや郷土愛に溢れた読み物となっていて、これぞ富洲原の通史と呼べるものだと思いますので、富洲原に住む人はぜひご一読ください。

この記念誌編集の原動力となったのは、地域の学校教育に対する熱い思いはもちろん、郷土の歴史を後世に伝えたいと願う関係者の努力、貴重な資料を提供していただいた方々のご厚意などが混ぜ合わさったものでしょうが、今の時代にこれだけの編集パワーはないだろうと思知らされるほどの内容です。

昭和55年(1980年)以降の地区の様子については、昨年度作成した「地区広報とみすはら(※)」の集録版をご覧ください。幸いです。

※いずれも富洲原地区市民センター図書室にて閲覧可能



富洲原地区 令和4年1月1日現在

面積

2.04 Km²
(四日市市24地区内で最小)

世帯数

3,876 世帯

人口

8,454 人
(男性 4,188人・女性 4,266人)

安全! 安心! “とみすはら”

富洲原地区では、安全安心のためにさまざまな団体が活動しています。

富洲原消防分団



火災での消火活動の他、防災訓練・応急手当の指導や小学生の防災教育などを行っています。

青少年を守る会



コロナ禍前は、各町委員で夜のパトロールをしていましたが、昨年度と今年度は役員のみでパトロールをしました。

子ども見守り隊

毎日、登下校する子どもたちの安全を見守っています。

> 松原



> 天カ須賀



> 富田一色



四日市北地区交通安全協会

毎月11日と春・秋の交通安全運動のときには登下校する子どもたちの安全を見守っています。

> 松原支部



> 天カ須賀支部



> 富田一色支部

よっかいち防犯ステーション



旧四日市北警察署跡地の一角にあり、月曜から土曜までの週6日(日曜・祝日は休館)、午前11時30分から午後8時まで開館し、常駐する警察OB職員2名が周辺地域の防犯活動に関する相談やパトロールをしています。

PTA (小学校・中学校)



不定期に登下校の見守りをしています。



富洲原地区民生委員児童委員協議会



寝たきり高齢者・認知症高齢者・ひとり暮らし高齢者の見守り、主任児童委員による子どもや子育ての困りごとの相談のほか、毎月第1・第3月曜日に小学校の下校時刻に合わせて子どもたちの見守りもしています。

富洲原地区連合自主防災隊

各町自主防災隊長が毎月防災資機材倉庫の点検を行ったり、年に一度、普通救命講習で適切な応急手当ができるよう、いざという時のために備えています。



他にも散歩や買い物ついで、庭そうじの時など、外に出て子どもたちの登下校を見守ってくれている方がみえたり、いろいろなかたちでたくさんの方が“とみすはら”を守ってくれています。そのお陰で、私たちは毎日安心して暮らすことができます。皆さん、いつも、ありがとうございます。

シリーズ

昭和の富洲原

かね和商店

(天力須賀)



前店舗▶



▼昭和初期



天力須賀本町にある八百屋「かね和」さん。昭和初期に創業。昭和8年頃の企業広告にも掲載されています。昨年、店舗を建て替え、小規模ながらも趣きのある店構えに変わりました。今後、店主は地域の買い物難民の解消にも尽力したいとのこと。

新消防車 お披露目

現在、富洲原消防分団では、自営業・サラリーマンなどいろいろな仕事をしながら12名が「誉めよたたえよ団員同士」をモットーに、一致団結して「楽しく」活動しています。

分団では、一緒に活動する仲間を募集しています。18歳以上の健康な方であれば入団することができます。また他地区では女性も活躍しています。

これから何か始めたいと考えている方、地域に貢献したい方、ぜひ入団を!!

火災や風水害などの災害発生時には、夜中でも出動するなど大変なこともありますが、とてもやりがいのある活動です。

私自身は、祖父が富洲原分団の初代分団長をしていてあこがれもあり入団しました。いろいろな出会い、世代間交流や知識が増えるなど良いことがたくさんあります。



富洲原消防分団 分団長 渡邊俊宏さん



編集委員

委員長 荻子 正明
副委員長 酒井 寛

委員 水谷 武彦 黒田 公雄
伊藤 則夫 福田 修二
中西 典子 水谷 雅寛